

昭和55年1月10日発行



No. 128

55

1

おもな内容

- ことしもお元気で……………2～3頁
- 新年にかける夢……………4～5頁
- スポーツ……………6～7頁
- 農用地高度利用促進事業……………8頁
- 小中学生のページ……………10～11頁
- 上米田小と北小に体育館……………12頁

発行・岐阜県川辺町 ■編集・川辺町役場企画室 ■印刷・四橋印刷 K K



盆栽づくりを勉強——— 福寿大学のお年寄り

ことしもお元気で…

すすめていきます健康事業



幸せな毎日は健康なからだの基本。町では血圧測定など各種の検診を行い、健康管理の手助けをしています=役場で

早期発見たいせつ

あなたもすすんで参加を

ガン検診

日本人に一番多いガンは胃ガンです。胃ガンは胃の粘膜面にでき

ますが、早期ガンのうちに見つければ完全に治すことができますとい

われています。しかし、進行ガンになると、からだの各所に転移して治すことがむずかしくなります。また日本の女性の子宮ガンにかかる割合は全ガンの約二割ですが、死亡率はその半分です。というこ

とは、かかっても治る人が多いとい

われていきます。しかし、進行ガンになると、からだの各所に転移して治すことがむずかしくなります。また日本の女性の子宮ガンにかかる割合は全ガンの約二割ですが、死亡率はその半分です。というこ

いうことです。子宮ガンは見つけやすい病気で

健康はみんなの願いです。町では、みなさんが元気で幸せな毎日を送ることができるよう、各種検診や予防接種などの保健衛生事業を活発にすすめています。

死亡原因は胃ガンがトップ

本町の五十三年度中における死

結核も油断は禁物

性別で見ると、男十一人、女六人で、男は女の倍です。年齢別では五十代の七人、六十代の四人が最も多くなっています。全国的にみても、三十歳から六十九歳までの死因の一位はガンで、働き盛りの男の人に、とくにガン検診をすすめたところです。

結核は近代医学のめざましい進歩と、予防対策の推進や予防思想の普及により年々好転してきています。しかし、結核医療の進歩、死亡数の減少という点だけを取りあげて「結核はもうかたづいた」という楽観ムードが広がりがつつあります。結核のレントゲン検査は、結核

健康診断が義務づけられています。この検診では、結核の早期発見はもちろんのこと、心臓病、肺ガン、気管支拡張症、そのほか肺に関する疾患の発見が可能です。検診は必ずうけてください。

予防法によって、毎年一回以上の

結核は伝染病です。自分一人だけというわけにはいきません。検診で、あなたの幸せな家庭を結核から守りましょう。

乳幼児のすこやかな成長を願い

3か月児相談や
3歳児健康審査

乳幼児を対象とするものには、三か月児相談、乳児健康診査、一歳六か月児健康診査、三歳児健康診査がありますが、いずれも乳幼児のすこやかな成長を願って行っているもので、発育上たいせつな各時期に区切りを設けて、健康状態をチェックしているわけです。

これらの相談や健康診査に大きな役割をはたしているのが、母子保健推進員のみなさんです。母子保健推進員は、おかあさんの健康のことや赤ちゃんのことについて、いろいろ話しあったり、助産婦さんや町の保健婦に連絡することなどがおもな仕事です。現在十一人で各地区を担当しています。

◇三か月児相談 満三か月児が相談の対象になります。前年度は十二回実施しました。百三十一人が対象で、そのうち相談をうけたのは八四・〇%にあたる百十人でした。

妊婦学級も
健康な赤ちゃんを生み育てるため、妊婦学級を行っています。第一科と第二科にわけられ、それぞれ妊婦として必要な知識などを勉強しています。

◇乳児健康診査 赤ちゃんが順調に育ち、異常がないかを確かめるために行っているものです。育児の方法などについても、ていねいに指導しています。対象者二百

六十三人で、受診者は内科、歯科とも百五十八人でした。むし歯のある幼児は受診者の七四・七%のばつています。対象は三歳—三歳十一か月児。

◇一歳六か月児健康診査 一歳六か月—八か月児を対象に四回実施しました。対象者百六十二人に對して、内科受診者が百四十三人、歯科受診者が八十五人でした。

◇三歳児健康診査 対象者は百六十三人で、受診者は内科、歯科とも百五十八人でした。むし歯のある幼児は受診者の七四・七%のばつています。対象は三歳—三歳十一か月児。

◇第二科 新生児の取り扱い、産後の家族計画、妊産婦の栄養などを勉強。

◇第一科 諸検査、妊娠から出産までの知識吸収、妊産婦体操など。対象者は百二十八人で受講者は四十八人でした。

健康で幸せな日々を送ることは、だれもが願うことです。成人病の予防と健康増進をはかるため、農村型健康管理の研究を県がモデル地域となつて行うことになりました。町では、新年度にその指定をうけるため、準備をすすめていきたいと考えています。

中学校、保育園、庁舎の建設など、大きな事業がこれから先にもたくさんひかえています。しかし福祉を後退させることなく、こまやかな行政サービスの向上に努力していきます。いっそうのご支援とご協力を心からお願いたします。

昭和五十五年の新春を迎え、みなさまがたのご健康を心からお喜び申しあげます。また日ごろの町政に対するあたたかいご理解とご協力にも、あらためてあつくお礼申しあげます。

了し、こどもたちは二学期から新校舎で授業を行っています。また同小プールにつきましても九月に完成しました。

同小と上米田小には屋内運動場を建設しています。昨夏に着工以来、工事も順調にすすみ、昨年末

の建設を行っています。昨年末で約六〇%の進展をみ、今シーズンには、いよいよ一般に開放できる予定です。

さて新年度も、あいかわらずきびしい財政状況が予想されます。しかし、この困難を克服し、町民

中央公民館を建設

町長・長谷川 仙一



けの年でもあります。輝かしい八〇年代に、いま一步をふみ出したわけですが、その記念すべき年のはじめにあたり「豊かで明るく住みよい町づくり」に向けて、なおいっそう努力を、と心を引き締めています。

では、完成に至りました。道路整備事業につきましては、当初計画した生活圏道路を主体とした改良事業はすべて完了ないしは着手し、現在のすすみぐあいは約八〇%です。

山楠公園では現在、グラウンド

町が実施した「町民生活意識調査」

まず中央公民館の建設——。これは全町民の一致した願いではなからうかと考えています。先ごろ

北小学校は昨年八月に工事を完

た。上米田小学校の改築は、北小に

押しすすめていきます。

上米田小学校の改築は、北小に

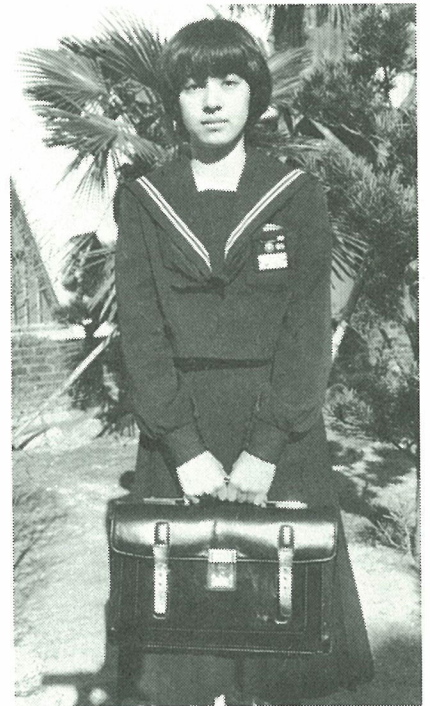
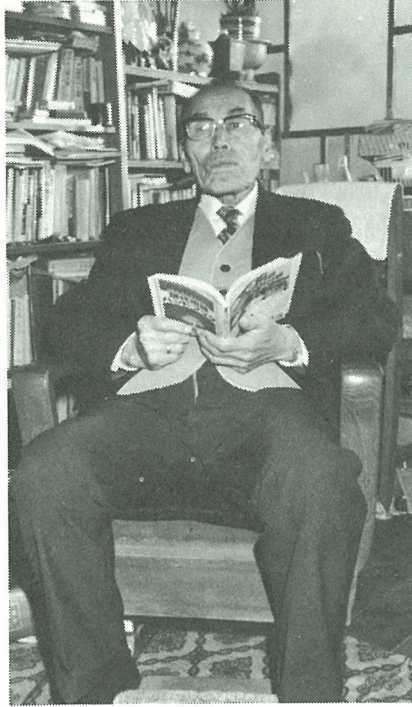
押しすすめていきます。

新年にかける夢

こころの豊かひこころ

新しい年、昭和五十五年が幕をあげました。ことは、八〇年代の第一歩でもあります。その記念すべき年のはじめにあたって、町内各地区の人たちから、ことしにかける夢や希望をきいてみました。

◇平岡喜八さん 郡連合福祉会会長を務めています。百歳運動を強力にすすめ、みんながじょうぶで長生きし、幸せにくらせるよう呼びかけたいですね。
(石神・77歳)

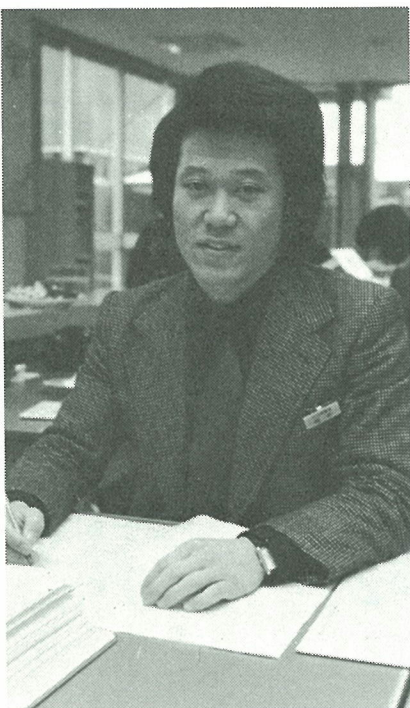


◇細江仁美さん 高校入試を間近にひかえ、いまは受験勉強の真っ最中。なにがなんでも入試に合格すること——これがことし最大の目標です。(西栃井・15歳)

◇金沢久子さん 婦人会の会長として、たくさんの人たちとのふれあいが増えて喜んでいきます。会員数を増やして、婦人会の輪をいっそう広げたいですね。
(上川辺・52歳)



◇横山美代子さん 私ものことしから成人の間入り。青年協議会の会員のひとりとして、はずかしくない行動をとりたいたはります。(比久見・19歳)



◇桜井尚樹さん あらゆる面において責任を感じる年齢になってきました。仕事にも意欲を燃やし、悔いのない毎日を送りたいと思っています。(下川辺・23歳)

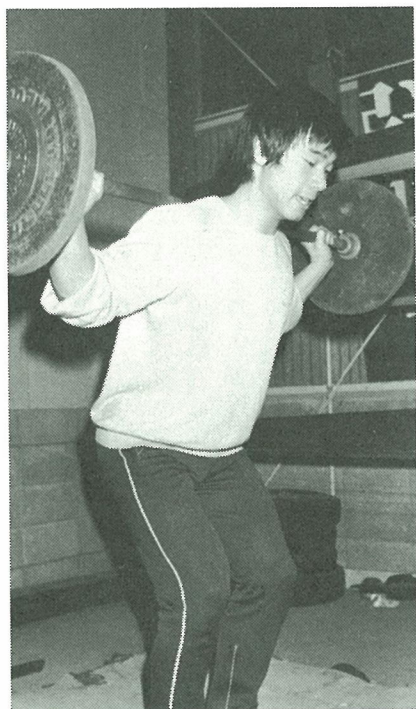


◇佐伯俊治くん
ことし四月からぼくも中学生です。小学校で野球をやっていたので、中学校にいても野球部へはいって内野を守ってみたい。(下吉田・12歳)

◇せんだひろたかくん
ことし小学校へ入学します。小学生になったら、なんでもできる強いにんげんになりたい。たいそうもじようずになりた。い。(下麻生・6歳)



◇横田百子さん
二月にはじめての赤ちゃんが生まれます。最初は女の子がほしいですね。なにはともあれ五体満足で健康な子であればと願っています。(鹿塩・23歳)



◇山田美鈴さん
去年大学を卒業して、いまは仕事に明けくられる毎日。スポーツをやっているおかげからだの調子も上々。ことしも一年健康で。(中川・23歳)

◇土屋礼一さん
ことしも福寿大学で墨絵の勉強をしようと思えます。最近、俳句や書道もやりはじめました。毎日二時間の散歩も欠かさず続けます。(福島・92歳)



◇飯田美鈴さん
ひまつぶしにイラストなんかをかいています。ことしは去年より、もう少し熱を入れてやりたいな、なんて考えているんです。(下飯田・20歳)

川辺走友が2位入賞

1位に
32秒差

辻さんらに区間賞

加茂駅伝



二位でゴールインする川辺走友Aの最終ランナー辻武史選手
手前美濃加茂市の西中で

スポーツ

がんばった渡辺くん

最年少で出場、走り抜く



渡辺 舟 治 くん

第十五回加茂駅伝大会に中部中

の生徒が出場、一般の精鋭にまじって苦しい道のりを走り抜きました。
この生徒は同中二年生の渡辺舟治くん(四)上川辺。もちろん出場選手のなかでは最年少で、同大会には一昨年に続いて二回目の出場です。

渡辺くんは中学校ではバレーボ

ール部にはいつており、走ることには部活動前後のランニングだけ。しかし、その練習不足のハンディを若さで克服しました。
大会には加茂走ろう会の一員として出場、三区の二・六*間を走りました。タイムは10分41秒で十八選手中九位の成績でした。
渡辺くんは、昨年の元日マラソン、伴睦(ばんぼく)駅伝にも出場、走ることが大好きという少年です。今回の加茂駅伝にも「走ってくれといわれれば、ぜひ出場したい」と意欲を見せています。

第十五回加茂駅伝大会は十二月二日、八百津町八百津小―美濃加茂市西中間の六区間、二〇・二*のコースで行われ、川辺走友A(橋本信幸、山口幸三、渡辺政彦、西垣豊、山口強司、辻武史)敬称略)がよく健闘し、1時間6分23秒の好タイムで二位に入賞、二人が区間賞を獲得しました。
大会には十八チームが参加、一

区で四位だった川辺走友Aは、二区で二位へと一気に浮上。しかし若さにものをいわせた加茂農林Aに32秒差で逃げられました。
町内からは同チームのほか二チームが出場、川辺フードセンター(藪下馨、田原裕、長尾諭、吉田道夫、清水靖夫、吉田国一)敬称略)が1時間15分31秒で十一位、加茂走ろう会(前島哲郎、山田俊雄、渡辺舟治、伊藤龍雄、土谷源良、熊崎幸二)敬称略)が1時間22分29秒で十六位でした。
区間賞は次のみなさん。(敬称略)
▽二区(四・五*) 山口幸三 13分19秒
▽六区(三・三*) 辻武史 10分31秒

がんばりました―川辺走友A、川辺フードセンター、加茂走ろう会の面々



イーグルスAが優勝

第2回少年野球郡大会

和知Aに完封勝ち



和知クラブAを完封、優勝した川辺イーグルスA

第二回少年野球郡大会がこのほど川辺グラウンドで開かれ、川辺イーグルスA（川辺小）が優勝しました。大会には郡内小学校から二十七チームが出場、十二月二日に行われた決勝戦には、前評判の高かった川辺イーグルスAと和知クラブA（和知小）が進出しま

【決勝】

（投）服部満一（捕）渡辺裕介

川辺イーグルスA	0 0 0 0 0 0 2
和知クラブA	0 0 0 0 0 0 0
	0 2

した。

0-0で迎えた最終回の七回表、川辺イーグルスAの橋本尚樹選手の四球を足がかりに、服部満選手の二塁打、堀江敏浩選手のスクイズで2点をあげ、和知クラブAをつきはなしました。

三位には川辺イーグルスBと飛水クラブ（上米田小）がはいり、川辺勢の強さを見せました。

〔川辺イーグルスA優勝までの足跡〕

▽準々決勝 川辺イーグルスA 2-0 富加クラブA

▽準決勝 川辺イーグルスA 3-1 飛水クラブA

▽準決勝

エンゼルス6-4上川辺、パンサーズ9-4スマイル

▽決勝

パンサーズ12-1エンゼルス

比久見に栄冠

壮年ソフトボール

第一回中日旗争奪壮年ソフトボール大会がこのほど、中部中グラウンドと川辺小学校庭で開かれました。大会には八チームが参加、決勝では比久見と中川辺上が対戦し、力強い攻撃を見せた比久見が優勝しました。

成績は次の通り。

①比久見②中川辺上③石神、西

▽一回戦

中川辺上14-5福島、西栃井10-8下麻生、比久見13-0下川辺

▽準決勝

中川辺上11-1西栃井、比久見3（抽選勝ち）3石神

▽決勝

比久見10-2中川辺

女子はパンサーズ

第二回中日杯争奪女子ソフトボール大会がこのほど、中部中グラウンドで十チームが出場して開かれました。決勝はパンサーズとエンゼルスの間で行われ、攻守ともに勝るパンサーズが優勝しました。

成績は次の通り。

①パンサーズ②エンゼルス③スマイル、上川辺



壮年ソフトで優勝した比久見



女子ソフトで優勝したパンサーズ

スポーツ

比久見Aが1位

家庭婦人バレー大会

第八回家庭婦人バレーボール大会が十二月三日、中部中体育館で十チームが参加して開かれました。

成績は次の通り。

①比久見A②比久見B③石神

▽一、二回戦

下川辺2-1中川辺下、比久見A2-0上川辺、下川辺2-1中川辺上A、比久見B2-1石神B、石神A2-0中川辺上B、比久見A2-0福島

▽準決勝

比久見B2-0下川辺、比久見A2-0石神A

▽三位決定戦

石神A2-0下川辺

▽決勝戦

比久見A2-0比久見B



優勝した比久見A

農 地

貸し手農家に奨励金

10アールあたり1-2万円



放置されて荒れたままになっている遊休農地。転作や貸し出しで有効利用を

遊休地の有効利用を

町では農地の有効利用をすすめるため、このほど新しく農用地高度利用促進事業を行うことになりました。この事業のねらいは次の通りです。

▽農地を耕作しない農家や耕作規模を少なくする農家が、ほかの耕作者に安心して農地を貸し出すことができるようにする。

▽地域農業をになう中核的農家

を育成するため、農地の流動化を促進する。

農地を貸した農家には、流動化奨励金を交付します。奨励金の対象となるのは、農用地利用増進事業や農業委員会の農地移動あっせん事業などで農地の利用権が設定された場合です。十アール以上三年以上六年末満で一万円、六年以上二万円を貸し手農家に支払いま

す。

くわしいことは役場産業課内農業委員会(電25111代)または次の流動化推進員におたずねください。(敬称略)

▽上川辺Ⅱ坪内直一、村山一一、武市義博▽石神Ⅱ平岡和一、桜井道夫▽中川辺Ⅱ平岩光秀、遠藤豊、渡辺繁、栗山正一、西垣正之▽西柄井Ⅱ山田耕作、大谷行雄、田原

耕作▽下川辺Ⅱ福田文雄、鈴木百夫▽鹿塩Ⅱ井戸義勝、高橋理▽下飯田Ⅱ石井稔、山田親太郎▽福島Ⅱ山田義広、井上定美▽比久見Ⅱ肥田光雄、加藤正実、加藤福美、山田和夫▽下吉田Ⅱ佐伯滝雄、佐伯勝治、丹羽博雄▽下麻生Ⅱ佐伯幸信、中川清次▽全地域Ⅱ加藤時夫、平岡三郎、田中義己、広瀬光義

さる四十五年からはじまった米生産調整および稲作転換対策の実施にともない、町では稲作以外の作物への転作などを農家に奨励してきました。しかし、なにも作付けしない遊休農地が町内に多く見られ、なかにはまったく放置されて荒れたままになっているところもあります。

こうした農地は雑草が生い茂り、病害虫の発生源となるなど、まわりの農地や農作物に大きな迷惑となっています。

土地資源の有効利用の立場から、また農業経営の向上のためにも、農地を遊ばせず、有効な利用と十分な管理をお願いします。

〈休耕田の対策〉

▽休耕田は立地条件をよく検討して、まわりに迷惑のかからないよう転作作物をつくってください。

▽耕作できない人は、農業を主とする農家に貸してください。農業委員会では農地の売買、貸し借

りのあつせんを行っています。農地を売りたい人、買いたい人、また貸したい人、借りたい人は農業委員会に申しこんでください。

▽やむを得ず休耕田にしておく場合は、まわりに迷惑をかけないよう草刈りあるいは除草剤を散布するなど十分な管理をしてください。

〈畑の遊休地対策〉

▽花木、茶、果樹、野菜など土地にあったものをつくってください。

▽耕作のできない人は、休耕田と同じように、農業を主とする農家に貸してください。

▽やむを得ず遊休農地にする場合は、休耕田と同じように、まわりに迷惑をかけないよう管理してください。

付近に荒地があつてこまつて

いる人は、お近くの農業委員に申し出てください。

猛威ふるうマツクイムシ

町でも松林三〇〇立方メートルが被害

美しい松林が、町内各所であたかも紅葉を思わせるように枯れているのにお気づきでしょうか。これは、いま全国的にまん延しているマツクイムシという害虫によるおそろしい被害です。

ここ数年の被害量は、全国で年間百万立方メートル以上もあり、これは、およそ五万戸の家屋を建てること

ができるほどの、ぼう大な量です。本町でも、ここの二、三年の間に約三百立方メートルの松林が被害にあっています。

いままですべて青々としていた松林が急に赤くなつて枯れるのは、そのほとんどが、マツクイムシと呼ばれるマツノザイセンチュウのせいです。この非常に小さなセンチュ

ウが、材内の細胞を破壊してしまふのです。

マツノザイセンチュウは回虫のようなかたちをしていて、自分では他の松の木へうつるのではなく、マツノキマダラカミキリを媒体として運び回ります。このカミキリは五、六月ごろ、松から松へと飛びまわつて小枝の皮を食べます。

このとき、カミキリに寄生していたセンチュウは、体内から脱出して、松の木の傷口から侵入するわけのです。

センチュウが材のなかへはいると、松はしだいに衰弱し、やがては枯れてしまいます。また、カミキリは弱った松の幹や太枝に卵を生みつけて繁殖します。このように、センチュウとカミキリは、たがいを利用してあつてはびこります。松枯れを防ぐには、マツノザイセンチュウの運び屋であるマツノマダラカミキリを倒すのが一番です。

〈予防〉

マツノマダラカミキリが、マツノザイセンチュウを体内に付着したまま松林を飛びまわるところ、あらかじめ小枝に薬を散布します。この方法には、ヘリコプターによる空中散歩などがあります。

薬の散布は五、六月ごろ、カミキリが外へ飛び出す直前に一回、それから約二十日後に一回、計二回必要です。

伐採や薬で駆除を

〈駆除〉

一般の人でもできる駆除の方法には、次のようなものがあります。
▽枯れた松にはマツノマダラカミキリの幼虫がついているので、

枯れ木を切り倒して皮をはぎ、はだ皮についている虫と枝を焼くか、薬をかける。

▽十一月以後は幼虫が材内にはいるので、直接薬を皮のうえから十分散布する。

一般に用いられている薬はスミチオン、デナボンなどです。

【空中散布時の注意】

▽散布当日は散布箇所にはいない。

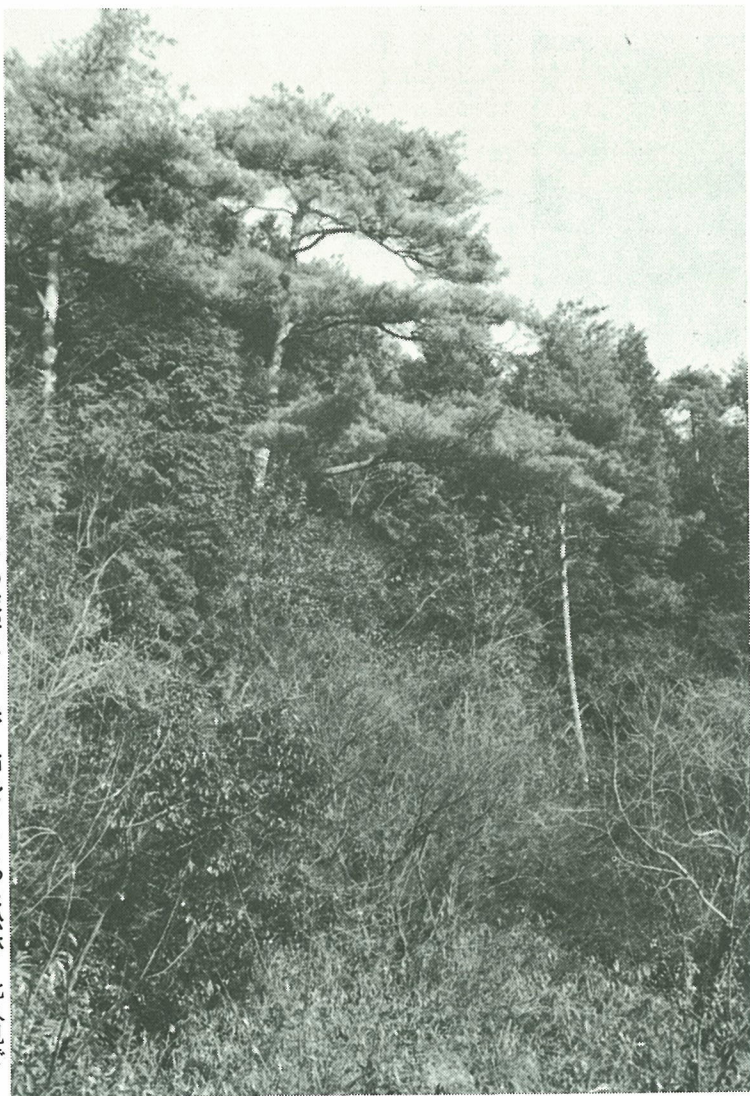
▽散布地周辺では飲食物は屋外に出さない。また突風などに備えて窓はしめておく。

▽蜜バチは、一時よそへうつすか、巣箱から外へ出ないようにする。

▽家畜、魚などは薬がかからないようにビニールなどでしや閉しておく。

森林は、私たちのかけがえのない財産です。マツクイムシは、たいせつな森林をとどころかまわず枯らしてしまうおそろしい害虫です。この害虫から緑を守り、子孫に引きつぐことは、私たちの大きな責任です。あなたの森林に被害が出たら、できるだけ早く、徹底的に防除してください。防除の方法など、わからないことは役場産業課（電251111代）森林組合（電2650）県事務所林務課（電0574215—31111代）へおたずねください。

マツクイムシの被害により赤く枯れてしまった松林（比久見で）



楽しかった「もみじまつり」

川辺小児童が合唱やコント

このほど川辺小で「もみじまつり」が開かれ、こどもたちがげきやコント、合唱などの練習の成果を見せました。このもよおしは、春の「仲よし



「もみじまつり」でいっしょうけんめい練習の成果を見せるこどもたち＝川辺小講堂で

上級生と下級生を仲よく遊ばせるなど、学年ごとのへだたりをなくすことが目的です。二、三時間の間の休み時間を「仲よしタイム」と名づけ、全児童がいっしょになつて遊んだり、体力づくりなどをしていきます。

もみじまつりは、おとしにつづいて二回目のもよおし。四十八グループを「下川辺中」「鹿塩」「学校前」など通学はんごにわけておこなわれました。

この日にそなえて、こどもたちはそれぞれのグループごとに「だしもの」を考え「仲よしタイム」の時間にいっしょに練習してきました。げきのときの衣しややお面なども、全部自分たちの手でつくりました。

会場にあてられた講堂には、こどもや先生のほか、おかあさんたちのすがたもチラホラ見えました。「もみじ」「たき火」などの合唱「さるかに合戦」「おむすびころりん」などのげきを、みんないっしょうけんめいやりました。

四年・鈴木伸一くん



はじめのころは、とてもおもしろかったけど、最後のほうはあまりおもしろくなかった。ものまね変そうが一番おもしろかった。(下川辺・10歳)

六年・紅谷真由美さん



わたしはものまね変そうでシンデレラひめの役をやりました。みんながたくさん見ているので、ちょっとはずかしかったです。(中川辺・12歳)

五年・遠藤賢吾くん



ぼくはものまね変そうで八つ墓村のおばあさん役をやりました。歩いていてけるところがとてもむずかしかった。(中川辺・11歳)

五年・橋本雅博くん



変そうしたり、げきをしたりでとても楽しかった。ぼくは「おむすびころりん」というげきでおいさんの役をやりました。ちよっときんちようしてしゃいしそうになつたけど、だいたいうまくできました。(西橋井・11歳)

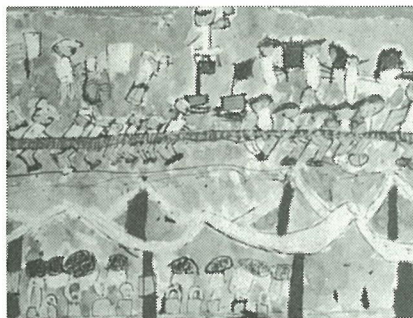
五年・井戸幸子さん



「もみじ」と「まつり」のつかない秋の合唱で指揮者をやりました。二番までやらなくてはいけないのに、まちがえて一番だけで指揮をやめちゃった。だけど、みんなはつづけて歌いました。だってだれも指揮のほうを見ていないんだもの。(鹿塩・11歳)



北小2年・有本香苗



川辺小2年・橋本宏秋

ぼくらの力作 いっぱい

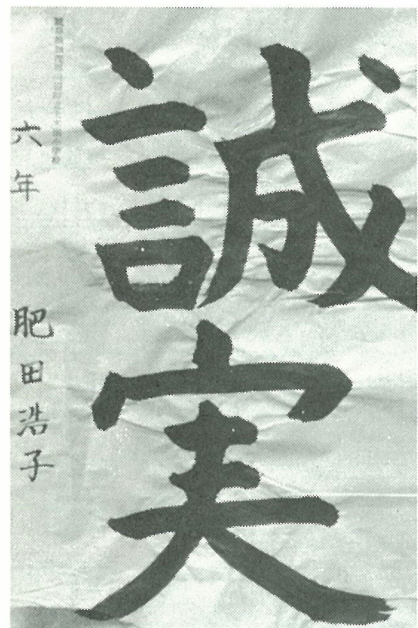
郡美術書写展

あかいさん たちが入選

このほどおこなわれた郡美術書写展で、町内小学校の次のみなさんの作品が入選しました。(敬称略)

【川辺小】

◇美術 ▽一年Ⅱあかいゆき、まついりょういち▽二年Ⅱ橋本宏秋、わたなべしのぶ、まえじまともゆき、にしがきまゆみ▽三年Ⅱ



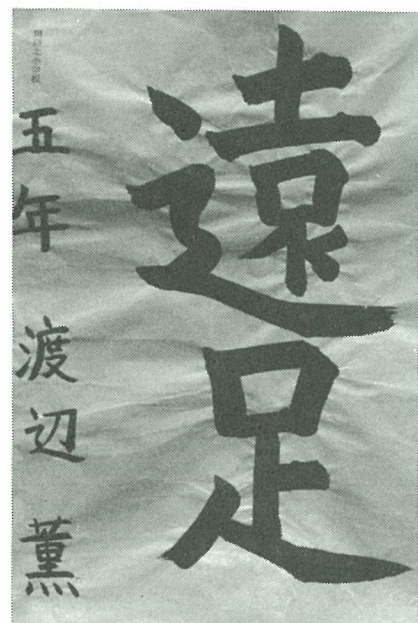
上米田小6年・肥田浩子



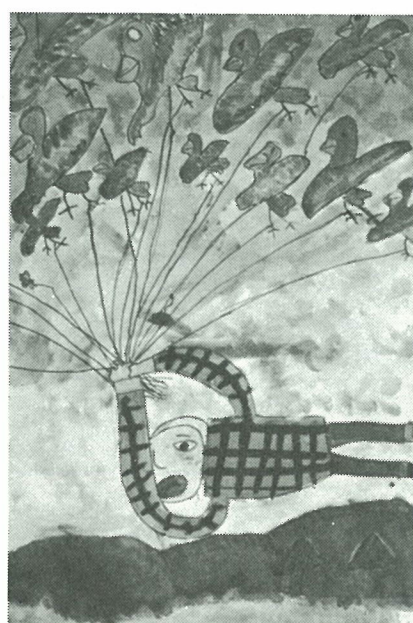
上米田小1年・加藤あきひこ



川辺小1年・あかいゆき



北小5年・渡辺 薫



川辺小6年・桜井 泰

篠田大輔、松井信子▽四年Ⅱ馬場英明、岩田臣史▽五年Ⅱ山田豊隆、日下部泰久▽六年Ⅱ松岡博保、橋本美千代、桜井泰
◇書写 ▽一年Ⅱさくらいまさと、わたなべけいこ、みずのまゆみ▽二年Ⅱひらおかあつこ、くさかべなおみ、橋本宏秋▽三年Ⅱ渡辺千春、木沢秀美▽四年Ⅱ桜井一章、中島紀子、高木みや子▽五年Ⅱ桜井幸浩、加藤学▽六年Ⅱ安江美穂、西垣美恵

【北小】
◇美術 ▽一年Ⅱ小嶋智也▽二年Ⅱ平岡善伸、有本香苗▽三年Ⅱ武市桂子▽四年Ⅱ山田直子、横山紀子▽五年Ⅱ鶴田あけみ、羽田和彦▽六年Ⅱ井戸由希子
◇書写 ▽一年Ⅱさへきまり▽二年Ⅱ大谷ゆきこ、伊藤茂人女▽三年Ⅱ佐伯美季▽四年Ⅱ渡辺明美、高谷健▽五年Ⅱ渡辺薫、長谷川いく子▽六年Ⅱ山口葉子

【上米田小】
◇美術 ▽一年Ⅱ加藤昭彦▽二年Ⅱ杉山俊之▽三年Ⅱ森聖彦▽四年Ⅱ加藤隆▽五年Ⅱ高井伸博▽六年Ⅱ土谷佳代美
◇書写 ▽一年Ⅱ石原葉子▽二年Ⅱ長瀬豊子▽三年Ⅱ杉原美保子▽四年Ⅱ中島雄樹▽五年Ⅱ桜井弘美▽六年Ⅱ肥田浩子
(紙面のつこうで全員の作品をのせることができませんでした。ごめんなさい)

上米田小と北小に体育館

昨年末に
ほぼ完成
球技用
コートが3面とれます



12月末にほぼ完成した上米田小体育館（上）と北小体育館

昨年七月から建設をはじめた上米田小と北小の体育館は、その後工事も順調にすすみ、十二月末までにほぼ完成しました。両体育館は、ともに鉄骨づくり、カラー鉄板ぶきです。

上米田小

上米田小の屋内体育館は、北舎裏の約二千八百平方メートルの敷地を利用、七千四百四十万円の工費を投じて建設にかかりました。

バレーボール、バスケットボールのコートがそれぞれ三面（公式競技用一面、練習用二面）ずつあるほか、ステージ、男女更衣室などを有しています。

これまで雨の日には、せまい講堂で体育の授業をうけていた児童たちも、体育館の完成により、思うぞんぶん体力づくりに励むことができるようになります。

北小

北小の体育館は校舎の右手、プールと並ぶ位置に建設しています。規模は上米田小体育館と同程度で、やはり公式競技用一面、練習用二面のバレーボールコート、バスケットボールコートを用意しています。ステージや放送施設も完備、これまで校舎内の広間で行っていた全校集会も、ここで行うようになります。総工費は九千五百万円。二月中旬に竣工式を行います。

文化財を巡回調査

保護審議会

木之根橋歌碑など

町文化財保護審議会（木下尚年会長）はこのほど、町内にある文化財を調査、今後の保護対策について現地で検討しました。この日は文化財指定物件のうち、重ね岩（鹿塩）御嶽大神（同）木の根橋歌碑（西栃井）などを対象に調査しました。

検討会では▽重ね岩の年代、地層の解明▽御嶽大神と旗本大嶋氏との関係、神仏分離による経緯などの調査▽木の根橋歌碑の拓本作成による保存——を決定。これと並行して保護対策についても話しあわれ、近く専門家を呼ぶことも決めました。

なお今後、町内全域の文化財についても順次巡回し、保護・調査計画を立案する予定です。



木の根橋歌碑を調査する文化財保護審議会委員＝西栃井で

文化財保護審議会委員は次のみなさん。（敬称略）

田原耕作（西栃井）井内日進（中川辺）伊藤克文（下麻生）山田里

見（福島）佐伯泉（下吉田）井戸喜一（鹿塩）木下尚年（事務局・中川辺）道家正一（同）

成人おめでとう

【上川辺】松田友子、長谷川敬子、武石治、武市初代、佐伯あをい、椎葉洋一、井戸早都美、則武知子、石原ちよみ、石原悦子、中島克孔、平岡正雄、小川和子、桑畑典洋、鈴木康次、清水京子、桑畑啓三、木下巧

【石神】平岡敏郎、平岡まゆみ、桜井桂子、加藤千典、桜井泰子、後藤和彦

【中川辺】末松茂、渡辺俊三、三品美栄子、紅谷邦子、後藤真理、西田さゆり、奥田美喜男、桜井仁美、石井美鈴、安田智尚、木村恵

子、犬飼章子、神田成則、浅沼千里、福井賢司、遠藤健一、松岡由美子、井戸直樹、加納奈味、岩井一浩、吉田晴幹、樺山芳紀、遠藤由美子、清水規子、遠藤千春、西

成美、深尾恭子

【下川辺】木下新吾、木下一秋、鈴木勢津子、福田伊津子、鈴木富朗、堀部みさと、長谷川憲司、鈴木信夫、有本由美、鈴木秀也、桜

【福島】小森明彦、小森洋一、樹下洋子、酒井賢司

【比久見】小原政仁、大脇真弓、井上明美、横山美代子、加藤真二、牧田政治、小栗晋、加藤宗秀、佐伯明美、細田そのみ、肥田祐子、牧田和弥、山田明美、山田幸子

【下吉田】山田伸二、馬場光徳

【下麻生】丹羽陽子、佐伯みどり、亀井佳子、河合範和、佐伯千鶴、長野三枝子、安江美緒子、佐伯美徳、佐伯みどり、兼岩康志、安江秀夫、藤掛裕二、交告真由美、佐伯由美子、馬場千香子（敬称略）

井留美子、座間英樹

【鹿塩】高橋和美、木沢文明、井戸明美、横田和代、安田訓子、村井弘美、加藤佳千子、加藤辰司

【下飯田】山田美鈴、山田千穂

子

税ニ二知識

税金の還付

五十四年分所得税の確定申告の期間は、二月十六日から三月十五日までです。しかし、税金の還付を受けるための確定申告は、二月十六日より前でもうけつけています。

確定申告をすれば税金の還付をうけられるのは、次のような人です。

▽年末調整で納めた税額のあるサラリーマンのうち、雑損控除、医療費控除、住宅取得控除などをうけることができる人

▽年の途中で退職し、その後就職しなかったため年末調整をうけなかった人

▽特定の寄付金を出して、寄付金控除がうけられる人

▽原稿料や利子、配当などの収入があつて、それらを含めた全体の所得があまり多くない人

▽予定納税をしたが、休業や廃業などのため、所得が前年より大幅に減つた人はやく申告すれば、税金の還付もはやくうけられます。

ガス管理は万全に

お年寄りの家庭を巡回

県プロパンガス協会はこのほど、町や消防署と協力して、町内のひ



プロパンガスの点検をする協会員ら＝下飯田で

とりぐらしのお年寄りの家をまわってプロパンガスの点検などをしてきました。

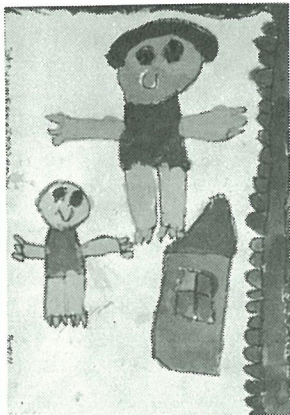
町内には現在、ひとりぐらしのお年寄りの家庭が五十三世帯あります。これらの家庭では、プロパンガスの扱いがたがなれなかったり、管理が不十分だったりして、事故のおきるおそれが多分にあります。そこで、おそろしいガスによる事故を未然に防ごうと見まわりました。

この日は、県プロパンガス協会に加入している町内の業者のほか、ホームヘルパー（家庭奉仕員）可茂消防川辺出張所員らが出勤、五班にわかれてガス器具の点検状態、プロパンガスの設置場所、ゴムホースのぐあいなどを調べました。そして悪い箇所については、さっそく修理や取りかえの手配をしました。

このほか寝たばこやタコ足配線は危険だからしないようにと、注意を呼びかけました。

はなしのひろば

みなさんの参加をお待ちしています。連絡は役場企画室広報係（電251111代）へ。



やまだゆきこ（四歳）＝中川辺

（第一保育園）

わたしも二筆

青くて深く、じつと見ているとなかから大蛇（じや）が「ピシャー」とおどり出てきそうな川ふち。この川のそばを通ったとき、

「ここが、嫁が淵（ふち）」というところやよ」と母が教えてくれました。

何年ぶりに、郷里の祖父の墓参りにいく途中である。

ここは高山線にそった角川と坂上の間あたりにあり、ここに伝わるむかしの話はこうでした。

ある年の春の夕方、若くて美しい巡礼姿の女の人がきました。そして、「もう夕方になってしまいましたので、ひと晩とめていただけないでしょうか」

やさしい心のおばあさんやむすこは、気の毒に思っただめてやることにしました。ところが夜中から大雨になり、いく日も続くので旅立つことができません。

そのうちに家の仕事を手伝ってくれるので、おばあさんはともてい入ります。

伝説のふるさと

佐伯陽子（41歳）＝下麻生

「むすこの嫁になってくれ」といいました。巡礼は、

「私でよかつたら」といつて承知しました。

仲よくくらししているうちに、ある日、おばあさんが病気になるてしまいました。むすこは母親のために、毎日アユや岩魚をつって食べさせました。

そのうちに、むすこがいそがしくて川にいかれないので、嫁が魚をとりに行くようになりました。毎日、大きさも同じくらいのをたくさんとってくるので、だんだん不思議に思い、ある日そと妻のあとをつけてみました。

妻は川のふちまでくると、ザブンと飛びこみました。しばらくすると魚をくわえた大蛇が岩に魚をたたきつけるのです。巡礼の妻は、このふちに住む大蛇だったのです。むすこは川のなかのようすを、キビ畑のなかから見たいので、びっくりして声を出してしまいました。それ以来、この畑ではキビがとれなくなつたそうです。このことが飛驒の方言に残っていて、気持が悪いということ「きびが悪い」と、いまでもいつています。



安田麻衣子ちゃん(6歳)＝西栃井
(善三さん・成子さん二女)



主婦らが消火訓練



消防団員の指導で放水のしかた
を習う奥さんたち＝西栃井で

西
栃
井

ど、同地区榊原寺わきの路上で消

*

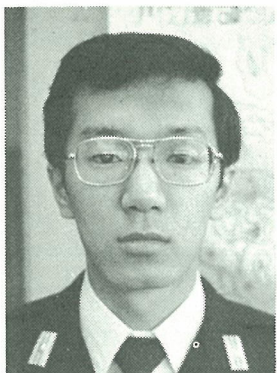
まちかど

火訓練をしました。空気が乾燥して火災が心配な時期だけに、全員真剣な面持ちで訓練に臨んでいました。

同地区では毎年、消火器の扱い方を練習していましたが、この日ははじめて消火せんの使用法を訓練にとり入れました。奥さんたち約二十人が集まったほか、男の人や小学生の姿もチラホラ。第二分団二部の市岡克吉副分団長ら十人の消防団員の指導で、消火せんの使いかた、ホースのつなぎかたなどを勉強、実際に放水して消火のコツをからだで覚えしました。

このあと参加者は消火器による訓練も実施、「男の人が働きに出ているときの火事が心配だったけど、これでなんとかなりそう」と自信を深めていました。

どうきんを寄付 西栃井の大谷やつさんからこのほど、町へぞうきん百二十枚の寄付がありました。町では教育委員会を通じて各小中学校へくばりました。



こんにちは

大坪治さん

十二月一日付で川辺派出所へ転任してきました。出身地は各務原市です。なにしろはじめての地ですのでわからないことだらけ。いろいろと教えてください。(西栃井・24歳)

総
合

郡消防連合演習 12月2日に坂

祝町で行われました。町消防団のほか坂祝、富加町消防団なども参加、震度六の大型地震が発生したという想定で、住民の避難誘導、火災発生による消火活動、人命救助など大がかりな演習をしました。御岳山の噴煙はつきりと 昨年10月下旬から噴煙をあげ続けていた御岳山のもようが、約六十*離れた山楠公園の「あずまや」からも肉眼ではつきりと見ることがができます。

あずまやは同公園内の海拔百七十七*の山頂にあり、天気の良い日には火口から立ちのぼる三本の噴煙と噴火口あたりのようすまでよくわかります。みなさんも一度散歩がてら、あずまやまで見物に行かれたらいかがですか。

(広報係では噴火のようすを撮影しましたが、残念ながら肉眼で見ただようには写りませんでした)

料理の
カキ



カキぞうすい

寒い冬に、おいしいカキでつくったぞうすいはいかがでしょう。正月で疲れている胃に、やさしい食べものを与えましょう。

【材料(五人分)】ごはん一・五カップ、だし汁(カツオのだし)五・六カップ、カキ二百*、ネギ百五十*、赤みそ八十*百*、浅草ノリ二分の一枚、紅シヨウガ三十*。

【つくりかた】①ごはんは洗い、だし汁に一時間ほどつけておきます②カキは塩水で洗い、ネギはなめ切りにします③だし汁につけたごはんを火にかけ、やわらかくなったらみそを加え、とけたらカキとネギを加え、さつとにます④どんぶりに盛り、せん切りの浅草ノリと紅シヨウガを散らしてできあがりです。

ぞうすいをつくるコツ▽長い時間すぎないで、ごはんがやわらかくなったら調味料を入れる▽料理の前に、ごはんを水で洗い、ぬめりを取ることをわすれないように

カキのかわりに、エビとかカニのかんづめなどを入れてもおいしいですね。

アコアコおじさん

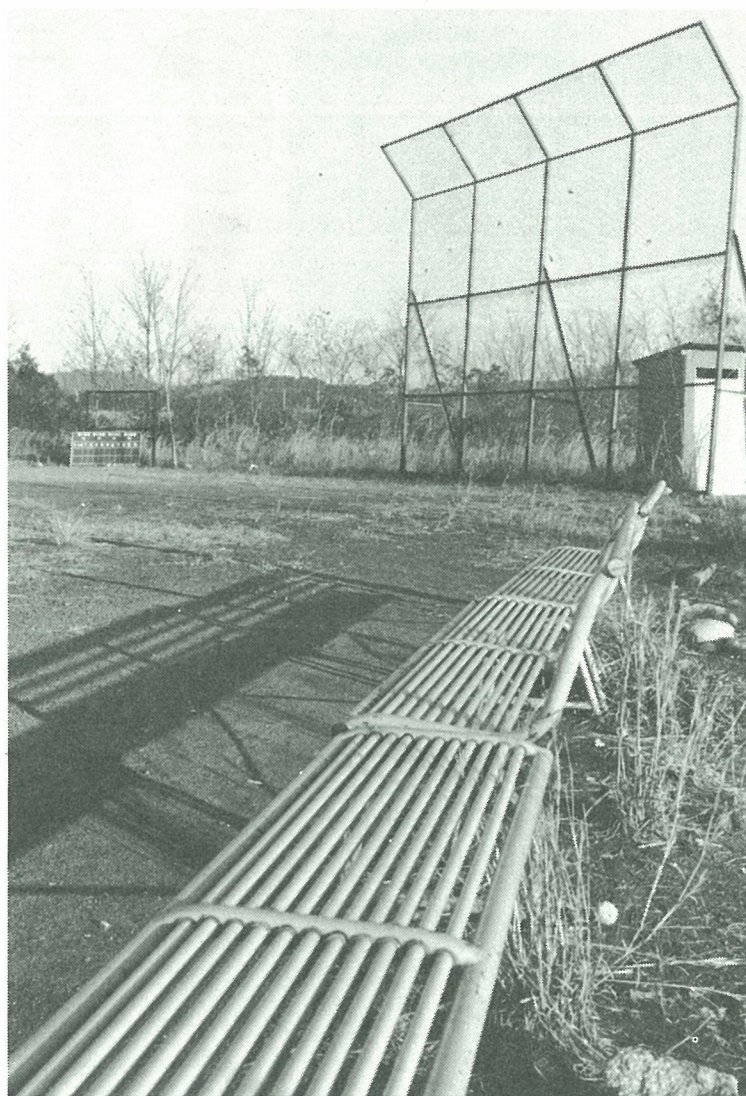
（阿部冬彦）



カラの目

野球もただいまシーズン・オフ。下川辺の野球同好会グラウンドには、訪れる人もほとんどありません。片すみにボツンと置かれたベンチが、シーズン中のにぎわいを思い出させてくれるようです。

みなさんの撮影した写真をお寄せください。採用分には粗品を進呈します。



お正月気分もそろそろ抜けるころですが、みなさんの家庭にはまだたくさんのおもちが残っていることでしょう。おもちはおいしい食べものですが、のどにつかえたりするとたいへん、なかには窒息死する人もいます。多くは七十歳以上のお年寄りですが、おもちを食べるときは十分気をつけましょう。

▽ゆっくり食べる

おもちの消化がよいのは確かですが、ねばり気が強いので、よくかまないで飲みこむのは危険です。お年寄りには、うんとやわらかくするか、小さくしてゆっくりかんで食べてもらいましょう。



▽もし、つかえたら
口を大きくあけさせて、なかにおもちが見えるときは指で引っぱり出します。あるいは、

なかをさすったりして、気分を落ち着かせてあげましょう。

おもちはずっくりかんで

は、こたつのうえなどに腹ばいにさせて上半身がたれさがるようにして、背なかの真んなかをボンと勢いよくたたいて、はき出させます。

▽取れないときは

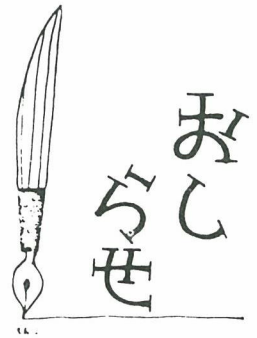
引き出すこともできず、胃袋にも落ちず、だんだん顔色が悪くなるような場合には、一刻も猶予はなりません。上半身を高めにして寝かせ、医師を呼ぶことです。

おもちといっしょに入れた歯を飲みこみ、入れ歯がのどに引っかかったときも、すぐに医師に連絡しましょう。

▽取り出せたら

楽な姿勢で休ませ、あたかいお茶を飲ませたり背





相談

教育相談

町教育委員会では、こどもたちの勉強や非行など、教育に関するあらゆる問題についての相談を次の通り行っています。教育についての悩みごとのあるかたは、気軽にお出かけください。

◆相談日 毎月第一土曜日、午前9時～12時

◆相談場所 役場会議室

◆対象者 小中高校の児童・生徒に関することならどなたでも

◆相談者 元太田小学校長・岡本穰さん、元中部中教諭・横山高恵さん

職場

小規模企業共済

小規模企業共済制度は、国がつくった事業主の退職金制度です。毎月掛け金を払うことによって、事業をやめたり、役員を退職したときなどに共済金が支払われます。

◆特色 ①掛け金は所得控除②

共済金などは退職所得③安全・確実④一定資格者には即日貸し付け

鑑登録も増えてきました。印鑑は個人の財産を左右するたいせつなものですから、当然本人自身が印鑑の登録申請を行うものです。病気などやむを得ない理由により、代理人が登録申請をしたときは、本人に登録の意思があるのか照会してからでないと登録できません。

この場合、郵便で照会をするため、2、3日程度の日数がかかります。そのため、前もって印鑑登録をしておかないと、急に印鑑証明が必要になったとき、たいへんこまることがありますのでお気を付けください。

なお本人が申請する場合も、本人かどうか確認する必要があります。下の登録は無効になっています。

農林業センサス

農林水産省では2月1日現在で、世界農林業センサスを行います。この調査は、農林業の実態を把握し、今後の行政に必要な基礎資料をつくるためのものです。

◆加入資格 ①常時使用する従業員が二十人（商業とサービス業は五人）以下の個人事業主および会社や企業組合・協業組合の役員

②ひとり、あるいは家族だけで事業を営んでいる人、または自由業者

◆掛け金 毎月千円～三万円

くらし

印鑑登録

最近いろいろな手続きなどで印鑑証明を必要とする書類がたいへん多くなり、それにとまって印

鑑登録を必要とする書類がたいへん多くなり、それにとまって印

おめでた おくやみ

（十一月中の届け出）

〔出生〕 上から住所、出生

児、父親、続柄の順

上川辺 長谷川 啓 哲 長男

土屋 裕磨 幸博 〃

長谷川智志 久男 二男

市原有由美 敬夫 二女

石神 牧野 慶子 勲 長女

中川辺 小嶋 隆文 幹夫 長男

中野 雅也 英行 〃

西村優美子 克己 長女

福島 横山 仁志 厚志 長男

比久見 羽根美穂子 慶澄 長女

藤掛 政人 文則 長男

〔死亡〕 上から住所、死亡

者、年齢、世帯主の順

上川辺 桑畑よしほ 79歳 英雄

重本 龜秋 79 〃 本人

石神 桜井 秀一 82 〃 〃

加藤 東一 87 〃 〃

下麻生 岩崎 文武 69 〃 〃

〔結婚〕

美濃加茂市 須田 晴夫

中川辺 神田 京子

西柳井 田原 広

瑞浪市 樋口 悦子

中野 澄雄

中川辺 中野貴美子

録制度が改正されたため、それ以前の登録は無効になっています。

〔登録できない印鑑〕
▽印鑑の氏名が住民票と一致していないもの
▽職業など氏名以外の事項をあらかわしているもの
▽ゴム印など変形しやすいもの
▽印影の大きさが一辺八ミリの正方形に収まるもの、または一辺二十五ミリの正方形に収まらないもの
▽印鑑のふちが欠けたりして印影を鮮明にあらわしていないもの
▽そのほか登録をうけようとする印鑑として適当でないもの

穂積町

山田 清孝

下麻生 多田 茂子

美濃加茂市 林 則道

下川辺 嶺川由美子

八百津町 渡辺喜久男

中川辺 天池すみ子

横浜市 飯塚 昇

西柳井 田原 栄子

春日井市 岸上 清一

下川辺 三宅美津子

上川辺 佐伯 道広

比久見 高橋 昇

名古屋市 山内 良平

下吉田 馬場美紀子

八百津町 林 俊宏

稲沢市

浅見 得一

中川辺 三品美栄子

下麻生 村瀬 克己

各務原市 佐藤 秋子

西柳井 小沢 将博

犬山市 松井 幹子

中川辺 遠藤 広利

下川辺 嶺川恵里子

下麻生 杉山 茂孝

下飯田 村上 伸子

比久見 高橋 昇

上川辺 石原 雅子

八百津町 後藤 明美

下麻生 神田 直樹

美濃加茂市 林久美子

町史編さん室だより



—その51—

能古山入会論争考 (19)

これまでの論争の概要をまとめると次のようになる。

この論争の端緒は宝永四年（一七〇七）七月のことであり、上川辺、鹿塩両村の訴状にはじまる。山峰の一部が石神村など四か村の入会地と主張する前記二村と、全域すべてを入会地とする四か村との争いである。いわば根本的な設定をめぐる双方の主張であるが、能古山が入会地となったのは、それより数十年前と推定される。しかもそれぞれの領主が、幕領地、旗本領にわかれていたため、この論争をいっそう複雑にしたものであろう。

高山代官所での取り調べがないまま、事件は江戸評定所に持ちこ

まれ、六か村あわせて二十一人からの村役人が、江戸に出向することとなった。そして滞在は七十五日にも及び、その費用もばく大なものとなった。すべて資金は各村村より念出して送金されている。村役人のひとり惣兵衛が、江戸にて病死したことも特記すべきことがらとなっている。

戸評定所での裁決によって、終止

符が打たれようとしていた。この年六か村の村役人は、ふたたび江戸へと出向して、幕府の裁決をうけている。

その後この論争は休止状態となっていたが、五十年後の宝暦年間（一七六〇）に再燃し、さらに文化・文政年間にはいって、急速に展開されるようになった。その間、仲介人による種々の折衝がすすめられたが、いずれも結論を得ず、やがて明治維新による新政府の発足となり、舞台は一転機を迎えることとなった。

（木下 尚年）

くらしの豆知識

暖かく過ごすためのヒント

- ①窓や壁のすきまをふさぎましょう。あける必要のないところには目ばりを。開閉する個所にはスポンジテープなどをはって、すきま風を防ぎましょう。
- ②厚手のカーテン、二重カーテンを。目のつまったものほど熱の節約率は高。
- ③たたみの下には新聞紙、ゆかにはカーペットを。カーペットの保温効果は、繊維のなかに含まれる空気が多いほど大きくなります。

わたしたちの作品

声あけて泣き訴へたき幾夜なり

昭和万葉集戦争の歌

脱殺の稲にとまりし秋の蝶

余命いくばく手にもて放つ

捨てなむと思ふ仔猫のやわやわと

四肢をのびしつ吾れに縫れり

ままごとの幼がまねる父のさま

足どり軽く胸張りて行く

朝光に叫んでみたき石廊崎

初冬の風の音なくわたる

初孫の誕生待ちつ秋の夜を

読みかじりいる姓名辞典を

竹やぶの葉づれ繁きに風かとも

はた雨かとも夜半にききおり

ふと腰の疲れ覚えぬ鉄先に

石はじく音農に生き来し

夕焼に明日を確かめバインダーを

納屋よりいだし整備急ぎぬ

肥田 千里

佐合 武

横山 寿子

馬場美代子

山田 君子

紅谷 茂

長瀬 宗子

岩井三千代

遠藤 豊

◇中学生の川柳（中部中一年一組生徒の作品）

テスト中きよろきよろしてたら見えちゃった

掲示物はがれていても知らんふり

お願いのわりには少ないおさい銭

小説を読みつつ左手菓子を食べ

品物のねだんを見てはさいふを見

妹の宿題やりかけ母がやる

コマシヤルつられて買って損をする

プレゼントしんぼうしきれず中をみる

有本 一広

西垣まゆみ

長瀬 由季

築樋 幸代

土屋 康則

冬になると手の脂がカサカサに荒れ、ひどくなると指紋がなくなつて光つてきたり、手の皮層にヒビがはいったり、はげ落ちたりするという経験をお持ちのかたも多いと思います。

手の荒れの原因は、おおかたは水仕事で、手の表面を守る脂肪分がなくなるためにおこるといわれています。家事に取りくむ女性にとっては、一種の「職業病」ともいえるようです。

これを防ぐには水仕事をやめるのが一番ですが、それはちょっとむりでしょう。そこで手袋をはめてから水仕事をするようにすること、洗剤などは少なめに使用することが予防のコツといえるでしょう。

広報雑記

人口の動き

総人口	65人の増
男	48人の増
女	17人の増
世帯数	29戸の増
転入	3人の増
転出	13人の増
=昨年1-11月の状況=	